

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2025 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ウォーミングアップについて

(1) ウォーミングアップエリアは以下のとおりとする。

場所	時間	
主競技場 第 2 コーナーから第 3 コーナー	全日	入場～競技終了まで

※駒沢競技場正面入口前の広場でのウォーミングアップ・運動は禁止とする。

(2) 主競技場ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。

(3) 競技区域内に入場できるのは、競技者のみ(※選手専用 AD カードが必要)とし、指導者・引率者等の立入は認めない。

(4) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い(競技運営上、一時的に制限することがある)、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。

※事故防止の観点から、ウォーミングアップエリアでの傘をさしての移動や音楽を聴きながらの運動は禁止とする。

(5) リレーのバトン練習は以下の通りとする。※使用レーンは練習場系の指示に従うこと。

バトン練習時間		場所
2 日目 7/12	8 : 2 0 ~ 9 : 1 0	第 1 曲走路からバックストレート
	1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 3 0	
	1 2 : 3 5 ~ 1 4 : 1 0	
	1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 5 0	

(6) 練習用ハードルの設置については以下の通りとする。※使用レーンは、練習場系の指示に従うこと。

競技種目	ハードル設置時間		場所
男子 110mH 女子 100mH	2 日目 7/12	8 : 2 0 ~ 9 : 1 0	ホームストレート
男子 110mJH 女子 100mYH	2 日目	8 : 2 0 ~ 9 : 1 0	ホームストレート
	7/12	1 2 : 3 5 ~ 1 4 : 1 0	バックストレート
男子 400mH 女子 400mH	3 日目 7/13	8 : 2 0 ~ 9 : 1 0 9 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0	第 1 曲走路からバックストレート

(7) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行うこと。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は 100m スタート付近（競技場レイアウト参照）に設置する。
- (2) 代理人による点呼は認めない。但し種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる場合は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (3) 招集開始時間、招集完了時間は下記のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
男女ハンマー投	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
上記以外のフィールド種目	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

* ハンマー投競技は、7 月 6 日（日）国土舘大学陸上競技場にて実施する。

- (4) 棒高跳は招集を現地で行い、競技開始 50 分前に打ち切りとする。
- (5) リレーに出場するチームは、各ラウンドの 1 組目の招集完了 60 分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係主任に届け出ること（オーダー用紙はプログラムに掲載してある）。

4 アスリートビブスについて

- (1) 3000m 以上の個人種目（3000mSC を含む）では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。
- (2) サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400m リレーの 4 走者、1600m リレーの 2～4 走者において両側の腰につけること（インサイドカメラ使用のため）。サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。

5 番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 1 年生種目において、200m までのトラック種目の決勝に時間により進出する最後の 1 枠に同成績がいる場合は、0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、抽選を行う。
- (3) 抽選は同成績者または代理人によって行われる。アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。

6 競技について

(1) トラック競技について

- ① Set の合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある【競技規則 TR16.5.1-3】。累積 2 枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ② リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする【競技規則 TR5.1】。ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ③ 男子 3000mW はスタートから 18 分、女子 3000mW はスタートから 20 分で次の周回にはいれないものとする。

(2) フィールド競技について

- ① 男女走幅跳、男女三段跳は A・B ピットに分かれて行い、競技終了まで割り当てられたピットは変更しない。上位 8 名による 4 回目以降も同様に 2 ピットで行う。
- ② 三段跳の踏切板は、砂場から男子は 11m 地点、女子は 9m 地点に設置する。
- ③ 砲丸投について
1 年生種目以外の競技は、最初の有効試技は全員計測する。それ以降は、記録が更新されたものだけ計測する。2 番目の記録による順位決定は行わず、同順位とする。
- ④ ハンマー投について
ペグ方式で行う。3 投目終了時点で計測を行い、トップ 8 (8 名) を決定する。但し、3 投目終了時点で、8 位で同記録が出た場合は同順位として扱い、対象者全員が 4 投目以降も投げることができる。また、2 番目の記録による順位決定は行わず、同順位とする。

7 競技用具について

競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するのは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させねばならない。

8 走高跳・棒高跳について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種 目	練 習	バーのあげ方
男子走高跳	1m70・1m85	1m75・1m80・1m85・1m90・1m95 以降3cmずつ
女子走高跳	1m40・1m55	1m45・1m50・1m55・1m58 以降3cmずつ
男子棒高跳	3m20・3m40・4m00	3m40・3m60・3m80・4m00・4m10 以後10cm 4m60 以降5cmずつ
女子棒高跳	2m00・2m50・3m00	2m20・2m40・2m60・2m70 以後10cmずつ

- ② 男女走高跳は、A・B の 2 ピットで行う。

9 競技用シューズについて

- (1) トラック種目、フィールド種目における靴底の最大の厚さは 20mm とする。競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm とする。【競技規則 TR5.2】。
- (2) 必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することがある。
- (3) その他詳細、WA 承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照すること。
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目結果発表は、大型映像装置及びアナウンスで行う。掲示板による発表は行わない。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合は発表後 15 分以内、それ以外の場合は発表後 30 分以内に、競技者もしくは顧問が審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。この裁定に納得がいかない場合は、預託金（10,000 円）を添えて、総務を通してジュリーに「上訴申立書」で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる【競技規則 TR8】。「上訴申立書」は総務に用意する。

11 助力について

- (1) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.3.2】。
- (2) 顧問・指導者らによる助言・指導は、競技場内スタンドに設けたコーチングエリアからのみ行うことができる。競技エリア(グラウンドレベル)での助言・指導は禁止とする。
- (3) スタンドから競技者に映像機器を手渡す場合は、指定された場所からのみ認める。

12 入賞について

- (1) 1 年生種目については 1 位～8 位までを表彰し、男女各 1 名の優秀選手を表彰する。
- (2) 選抜大会については 1 位～8 位までに表彰状を授与し、男女各 1 名の優秀選手を表彰する。

13 応援について

- (1) 応援は必ずスタンドから行うこと。グラウンドレベル（競技エリアおよびウォーミングアップエリア）での応援は禁止とする。またコーチングエリアでの応援も禁止とする。
- (2) 集団応援はスタンドの通路よりも上段部分で行うこと。通路よりも下段部分での集団応援は禁止とする。また、ホームスタンドでの集団応援は全面禁止とする。
- (3) スターターによるスタートの合図がかかった時は、応援を止めること。

14 暑熱対策について

- (1) 氷など暑熱対策に必要な物を、各校で必ず準備をしておくこと。
- (2) WBGT(暑さ指数)が 31 度を超えた場合、本競技会を中止または中断、競技方法の変更を行うことがある。
- (3) 男女 1500m、女子 1 年 1500m、男子 1 年 3000m、男子 5000m、女子 3000m、男子 3000mSC、男女 3000mW の中長距離種目については、ゴール付近(B ゲート)に限り、付添(選手 1 名につき 1 名)によるフィニッシュ後の給水や介添えを認める(レース中の応援は禁止)。介添えを行う者は、B ゲート裏に待機し、競技役員の指示に従い行動すること。

15 その他

- (1) 本大会は国民スポーツ大会東京都予選会を兼ねる。
- (2) ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は指定された区域の清掃を行うこと。7 月 1 2 日(土)は第 1,2,3 支部の学校、責任者は各支部長。7 月 1 3 日(日)は第 4,5,6 支部の学校、責任者は各支部長。
- (3) 競技場内通路（ダッグアウト）にシートを敷いたりして場所を占有してはならない。
- (4) 閉会式は行わない。
- (5) 本大会中、第 78 回全国高校総合体育大会の壮行会を行う。なお、出場者は名簿参照のこと。
- (6) 今年度の全国高校総体は広島で行われます。出場選手にご声援を。
- (7) その他不明の点は大会総務まで照会下さい。